

富士山世界文化遺産登録 10周年記念式典

静岡県と山梨県が共同で開催した式典に多くの県議とともに参加。富士山の適正管理に向けて入山者の制限の議論を進めていくなどの話がありましたが、当初自然遺産を目指したが、富士山麓に基地や演習場を抱える防衛省の協力が得られず国内検討会で落選、方向転換して文化遺産を目指した苦労話を聞くことができず残念でした。最近リニア新幹線で話題の長崎・山梨県知事と川勝・静岡県知事が共同宣言に署名後、手を携えてアピールでき、ほっとしています。(6/22)



杉山あつし プロフィール

1962年 10月31日生(駿河区南町生まれ)
静岡学園幼稚園・富士見小学校・高松中学校卒業
1981年 静岡東高校卒業(16期生)
1981年 静岡県職員に採用(民生福祉・税務に従事)
(財務事務所、中部民生事務所、こども家庭相談センターに勤務)
2012年 静岡県職員組合専士役員(11年7か月) 49歳時に県を退職
2019年 県議会議員選挙(駿河区)に当選
2020年 産業委員会副委員長
2023年 2期目の当選
2023年 文化観光委員会副委員長

会派「ふじのくに県民クラブ」・静岡東高後援会理事

■杉山あつし事務所

静岡市駿河区富士見台2丁目3-34-13
TEL FAX:054-282-0143
携帯電話:090-1279-1443
MAIL:kycdh891@yahoo.co.jp

リニア中央新幹線・県出前講座

「南アルプスとリニアを考える市民ネットワーク静岡」主催のリニア新幹線・出前講座に参加し、県環境局の職員から静岡県の取組みの報告を聞きました。リニア事業認可時の環境大臣意見「当該地域(大井川流域)の自然環境を保全することは我が国の使命」、国土交通大臣意見「十分な配慮、地元の理解と協力が不可欠」を実践し、守ってほしいという静岡県の考えを再認識できました。(5/7)



交通安全県民運動に協力

春の交通安全県民運動での富士見学区の取り組み・駿河高校前の交差点での「のぼり旗持ち活動」に参加。自転車のヘルメット着用が10%程度などを確認することができました。(5/11、7/11)



討議資料

誰も置き去りにしない社会へ 杉山あつしだより

県政へのご意見をお寄せください

発行者：杉山あつし（静岡県議会議員） 静岡市駿河区富士見台2丁目3-34-13
第17号（2023年7月25日発行） 電話 054-282-0143 FAX 054-282-0143



静岡県議会議員・杉山あつし 2期目へ始動！

■ 誰もが安心して暮らせるまちへ

6月2日に発生した豪雨による災害。静岡市内の床上浸水は清水区の3軒でした。一方JRの在来線、新幹線の運転見合わせが15時頃から22時間にも及び、多くの帰宅難民が発生しました。駿河区の災害では、久能地区3か所の小川が土砂で埋まり、道路に土砂があふれ、通行を阻害しました。行政にしっかりと対応してもらいます。

地元の課題では、大谷・恩田原の区画整理地区内での産廃焼却場進出問題、富士見台こども園の建替え・仮園舎建設、有明団地内の旧商店スペースの活用、大谷川水系の水害対策、旧明治乳業跡地へのコーナンPRO進出に際しての小学生通学路の確保などに対応しました。

■ 静岡県議会 6月議会報告 (6/23~7/12)

「保育士の配置基準と待遇改善を求める意見書」など採択し、閉会

6月県議会定例会は、7月3日で2年経過した熱海の土石流問題に関連した「違法盛土対策」と「リニア新幹線対策」の質問が多い議会でした。大石健司議員が「静岡県と長野県を結ぶ国道152号線・青崩峠トンネルがあるが、そのトンネル約5キロが貫通するまでの間、湧水や残土に県はどう対応したのか。リニアのトンネルは問題視し、青崩峠トンネルは関心を示しておらず、一貫性がない」と厳しく追及した質問が印象的で、注目されていました。

7月5日の文化観光委員会では「認可された学校には物価高騰での追加の支援をするのなら、認可外の外国人学校やフリースクールにも支援

■ 「文化観光委員会」副委員長 「リニア新幹線」担当に

2期目の議員バッチが支給され、本年度は大学、空港、観光を所管する「文化観光委員会」、会派では「リニア新幹線」担当になりました。

■ 9月定例会 代表質問に立ちます

ふじのくに県民クラブ
代表質問に立ちます。
9月26日 13時30分～
皆さまからのご意見をお待ちしています。



すべき」「スルガ銀行関連で経営不振のため県に譲渡を申し出ているヴァンジ彫刻庭園美術館（長泉町）への対応は慎重にすべき」と県の姿勢を追及した質問を行いました。



文化観光委員会 (7/5)

「学生たすけたいんじゃー」 県議会議員への報告会

私の呼びかけで、県議16人と県担当局長・課長が参加。県大生から、「目指している職業に就くためには、資格取得が必要。進学率の増加もあり、大学は決して贅沢ではないこと」「理系薬学部では研究室業務多忙が原因で、また、社会福祉や看護学部では実習先の施設や病院からの要請によりバイトができず、生活費に窮する支援が必要な学生が一定数いること」「生活面で相談できる体制が必要なこと」などの説明があり、学生の貧困、支援の必要性などを再認識できました。(6/23)



「静岡県内の保育環境の改善を求める要望署名」提出に立会

自治労県本部が取組んだ保育士の職員配置基準改善を内容とする「静岡県内の保育環境の改善を求める要望署名」の県・健康福祉部提出に立ち会いました。保育園などの事件が静岡県内から発生しており、保育士配置基準の改善は静岡県から国に対してしっかりと要望すべき事項です。県議会では6月定例会で「保育士の配置基準と処遇改善を求める意見書」が採択されました。(6/13)



有明団地自治会 静岡市要望対応に同席

静岡市住宅政策課への有明団地自治会の要望書提出に同行しました。団地内の旧商店の一部を自治会活動のために貸し出ししてほしいとの要望です。急激に高齢化が進んでいる団地の実態報告と自治会活動への支援を要請しました。(4/25)

健康保険証存続を求める学習会 袴田事件再審開始決定報告集会

単独の健康保険証存続を求める学習会に参加。「任意であるマイナンバーカードが健康保険証との一体化で強制される。被った被害はデジタル庁が責任を負わない。設備、維持費が高額で小規模な病院の経営に大きな影響が出る」などの問題点を確認することができました。(3/21)

袴田事件・再審開始決定報告集会に参加。静岡県警が57年前に証拠を捏造していたとして、死刑判決を見直す再審裁判が決定した袴田事件で、対応した弁護士や日本プロボクシング協会・袴田巖支援委員会の方からの感想・報告を聞くことができました。県議会議員として県議会での検証を求めていきます。(3/21)

「もったいない市」にボランティア

不用品の持ち込み、持ち帰りを通じて考えるゴミ減量の行事です。持ち帰り前には200人の方が並びました。(5/12)



福島子ども支援街頭募金 さようなら原発集会・デモ

3月11日はまず福島子ども支援街頭募金に参加し、募金の呼びかけを行い、その後「さようなら原発集会・デモ」に参加。来賓あいさつで「一日も早い原発ゼロ社会の実現」「大規模地震と原発は共存できない」「福島原発周辺の人々との連帯」を訴えました。発災時刻14時46分前には募金会場に戻り1分間の黙とうをさせていただきました。

6月11日にも福島子ども支援街頭募金に協力しました。(3/11、6/11)

次回予告 9月11日（月） 静岡駅北口地下



脱炭素自然エネルギー推進 静岡・議員の会 講演会

元福井地裁裁判長の樋口英明さんから「私が原発を止めた理由」と題した講演を受けました。「タイタニックは不沈とされていたため、救命ボートを人数分用意せず大災害となった。福島原発事故の損害は最も少ない見積もりで2.5兆円。原発を当初推進した過去の政治家よりも3.11を経験した我々の方が責任が重い。700ガルを超える原発は危ういとなるが、多くの裁判官は原発を止めないのは、裁判所は原発の安全性を直接判断するのではなく、規制基準の合理性を判断すればよい」など貴重な話を聞くことができました。(5/27)



福島原発事故スタディツアー・福島第1原発周辺

1日目は学習会。
小名浜機船底曳漁協の理事・柳内孝之氏から「汚染水海洋放出と福島の漁業」の報告。
「原発事故以来苦労して試験操業をして風評被害を克服してきた。汚染水海洋放出が長期に行われれば漁業の継続が困難になる」との切実な話しを聞きました。民間放射線調査機関である「たらちね」からは、「自主性を確保するため公的機関から補助を受けず、市民からの寄付で運営。漁民が汚染処理水の海洋放出により新たな放射能汚染で苦しめられようとしている」との報告がありました。

2日目は福島第一原発周辺へ出発。

- ①「震災遺構 浪江町立請戸小学校」
津波の際に全員避難した奇跡の学校。
- ②「東日本大震災・原子力災害伝承館」
- ③「とみおかアーカイブ・ミュージアム」町民証言記録、原発事故の経験・教訓を伝える特別展、収蔵展示。
- ④「宝鏡寺・伝言館」(原発事故の説明パネル約100点を展示中)
被災現場をそのまま残した請戸小学校は被害の悲惨さを実感でき、私的な団体が運営している宝鏡寺・伝言館では独自に発行している資料の多さに驚きました。(5/23、24)